



東北小だより

開校57年目

新座市北野3-1-1 TEL 048-471-2022
HP <https://e-tohoku-c-niiza.edumap.jp/>

～学校教育目標～
なかよく元気な子
よく考える子
すすんで働く子

令和7年度11月号
全児童数 786名



絵本がもたらす至福のひととき

～ 美しく 温かく 常に前進 東北小学校 ～

校長 斉藤 直之

秋も深まり、朝晩の空気が澄んでくると、校庭の木々も色づき始めます。この時期は「読書の秋」とも言われ、本を手取るのにぴったりの季節です。本校でも、毎年この時期を中心に読書活動を一層推進していこうと考えています。

特に近年は、絵本の人気が高まり、テレビでは大人も夢中になる絵本の特集が組まれていました。その特集を見ていて、私自身も小学生のころのお気に入りの絵本を思い出しました。何度も繰り返し読み、物語の中の主人公と一緒に冒険したり、登場人物の気持ちに共感したりしたことを今でも鮮明に覚えています。そうした体験を通して、想像力や表現力、そして、他者への思いやりの心など、多くのことを学びました。子供時代に本と出会い、物語の世界を自由に旅することは、豊かな心の土台を作るうえで、とても大切なことだと再認識している次第です。

そのような中、本校では、毎週火・木曜日の朝に、全校児童が10分間、一人一人が静かに本と向き合う「あさよむタイム」を設けており、金曜日は、月に一度の読み聞かせの時間とし、学校応援団である「おはなしよむよむ」の方々のお力をお借りして、本をみんなで一緒に味わう機会としております。

通年の活動としては、低学年では「100冊読破」、中学年以上では「1万ページ読破」を目標に、読書カードを活用した取組を進めています。読書カードには、物語や小説、図鑑、歴史漫画など、どんなジャンルの本でも記録できるような工夫をしています。子供たちには、

せっきくのこの時期に、普段あまり手に取らないジャンルの本にも挑戦してみるよう声をかけ、読書の幅を広げることを願っています。

さらに、本校では必読図書カードを活用し、「新座市必読図書」の取組を推進しています。これは「義務教育9年間を通して読んでおくといよい本」を市内で選定し、学級ごとに配架しているものです。20冊すべてを読破した児童には、学校から賞状を贈ることとしています。この取組は、学年段階ごとに選ばれた本を読むことで、発達の系統性に合わせた多様な本と出会うことができる良い機会となっています。

私は、このような読書活動を通じて、子供たちが本と親しみ、豊かな感性や想像力を育ててくれることを願っています。読書は知識を深めるだけでなく、心を耕し、人生をより豊かにしてくれる大切な営みです。たった一冊の本との出会いが、子供たちの人生を大きく変えることもあります。読書を通じて、子供たちが自分の世界を広げ、友達や家族、先生と本の感想を語り合いながら、多様な価値観に触れてほしいと思います。

ご家庭でも、ぜひお子さんと一緒に本を手に取り、読書の楽しさを分かち合ってください。お子さんが「面白かった!」「こんなことを考えたよ」と感じたことを話してくれる時間は、親子の絆を深める貴重なひとときとなること、間違いなしといえます。

活字が苦手な子供でも入りやすい世界が絵本にはあります。年齢に関係なく一緒に絵本を手にとり、その柔らかな絵を眺め、ゆっくりとページをめくるその感触は、至福のひとときです。